



# 平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月2日

上場会社名 株式会社 フジコー

上場取引所 東

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐藤 陵枝

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成30年5月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	2,559	1.6	137	16.9	106	16.4	37	19.0
29年6月期第3四半期	2,518	24.9	165	20.3	127	30.6	45	59.0

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 37百万円 (63.7%) 29年6月期第3四半期 102百万円 (8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	8.16	
29年6月期第3四半期	10.41	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	6,200	2,100	33.9
29年6月期	6,405	2,329	33.4

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 2,100百万円 29年6月期 2,141百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		6.00		6.00	12.00
30年6月期		6.00			
30年6月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,340	0.7	150	34.4	120	33.5	50	40.0	11.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	4,541,000 株	29年6月期	4,541,000 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	123 株	29年6月期	123 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	4,540,877 株	29年6月期3Q	4,396,432 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における建設系リサイクル事業につきましては、施設の長期改修工事にともない受入廃棄物の数量制限を実施するという厳しい状況下での事業活動となりました。各取引先との調整を行い、サービスの低下を軽減することに努めてまいりました。また、現在は許可品目から外れている廃石膏ボード、断熱材等の許可取得に向けた手続きを進めてまいりました。合わせてがれき類破碎施設の新規設置許可取得及び分別保管棟の建築工事着手に向けた準備も進めてまいりました。新築工事、リフォーム工事から発生する廃棄物の収集運搬事業及び白蟻解体工事は受注拡大に努めた結果、増加傾向で推移しております。森林発電事業においては、営業体制を強化することにより東京電力管内を含め、電力小売事業の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は2,559百万円（前年同期比1.6%増）となりました。売上原価は2,258百万円（前年同期比3.8%増）となり、リサイクル事業及び白蟻解体工事においては外注費が前年同期比で増加しております。森林発電事業は木材仕入費及び電力小売に関連する費用が前年同期比で増加しております。売上総利益は301百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

販売費及び一般管理費は163百万円（前年同期比7.2%減）となり、営業利益は137百万円（前年同期比16.9%減）となりました。営業外費用における株式交付費及び支払利息が減少した結果、経常利益は106百万円（前年同期比16.4%減）、固定資産除却損を計上した影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は37百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### ①建設系リサイクル事業

建設系リサイクル事業は、平成29年12月から平成30年2月末まで施設の改修工事を行ったため大幅な受入制限を実施せざるを得ない厳しい状況となりました。従来は破碎処理後に外部委託することにより、取引先からの要望に応え受入数量を維持することが可能でありました。しかしながら昨年より廃プラスチック類の海外輸出規制が強化された影響等により、委託先も受入制限を実施するとともに処理料金も高騰しており、外注委託可能数量を考慮しつつ、受入数量の調整を行う結果となりました。全般的な受入数量は、焼却施設が前年同期比3.1%増、受入平均単価も5.5%向上しております。発電施設は受入数量が前年同期比22.3%増、売電数量も1.5%増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,098百万円（前年同期比0.8%増）、売上原価は1,013百万円（前年同期比3.6%増）となった結果、売上総利益は84百万円（前年同期比23.7%減）となりました。

#### ②食品系リサイクル事業

食品系リサイクル事業は、平成30年1月より液状化飼料の新規販売先が増加しております。また新規受入先の契約も増加しており、当第3四半期連結会計期間の受入数量は前年同期比で5.1%増加、液状化飼料の販売数量も47.7%増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、124百万円（前年同期比28.8%減）、売上原価は107百万円（前年同期比29.7%減）となった結果、売上総利益は16百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

#### ③白蟻解体工事

白蟻解体工事は、解体工事につきましては安定受注に努めた結果、工事件数が増加しており、売上高が前年同期比で13%増加しております。また、白蟻工事は既存工事件数が減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は150百万円（前年同期比6.5%増）、売上原価は138百万円（前年同期比4.1%増）となった結果、売上総利益は12百万円（前年同期比44.6%増）となりました。

## ④森林発電事業

森林発電事業は、発電燃料となる木材が雪等の影響により想定よりも高い含水率であったため、使用数量が計画比で増加しております。効率的な乾燥を促進するため、新たな貯木場を賃借し、既存設備の撤去工事等を進めてまいりました。また、電力小売りの契約拡大に加え、木材購入に関する営業活動に注力してまいりました。発電につきましては概ね計画通り推移しており、地域関係者の方々との協議を進め、継続的に安定した木材調達と電力小売りの拡大に注力してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,186百万円（前年同期比6.6%増）、売上原価は999百万円（前年同期比9.4%増）、売上総利益は187百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて204百万円減少し、6,200百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、現預金が171百万円増加しておりますが、棚卸資産が49百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べて45百万円増加し、1,701百万円となりました。固定資産については、減価償却等により前連結会計年度末に比べて250百万円減少し、4,499百万円となりました。

流動負債については銀行借入等により、前連結会計年度末に比べて74百万円増加し、1,250百万円となりました。固定負債についてはリース債務の支払い等により、前連結会計年度末に比べて49百万円減少し、2,849百万円となりました。

純資産については、(株)一戸フォレストパワー優先株式の追加取得等により、前連結会計年度末に比べて229百万円減少し、2,100百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は、建設系リサイクル事業において受入廃棄物の制限等を行っておりますが、概ね計画通り推移しております。森林発電事業の売上高も概ね計画通り推移しております。売上原価につきましては、既存事業において、外注費用及び維持管理費等の変動が見込まれるとともに森林発電事業において燃料となる木材使用量が計画を上回っております。現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	2,559	2,518	41	2,534	25
売上原価	2,258	2,176	82	2,232	26
売上総利益	301	341	△40	302	△1
販売管理費	163	175	△12	164	△0
営業利益	137	165	△27	138	△0

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	778,548	950,281
売掛金	406,932	413,757
たな卸資産	297,025	247,727
その他	174,396	90,447
貸倒引当金	△640	△600
流動資産合計	1,656,263	1,701,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,849,529	2,833,086
減価償却累計額	△926,671	△983,417
建物及び構築物(純額)	1,922,857	1,849,668
機械装置及び運搬具	4,538,427	4,504,439
減価償却累計額	△2,258,164	△2,438,198
機械装置及び運搬具(純額)	2,280,263	2,066,240
土地	271,166	271,166
その他	40,499	50,447
減価償却累計額	△33,093	△35,236
その他(純額)	7,406	15,211
有形固定資産合計	4,481,694	4,202,287
無形固定資産	14,373	20,975
投資その他の資産		
投資その他の資産	253,335	275,869
貸倒引当金	△3	-
投資その他の資産合計	253,332	275,869
固定資産合計	4,749,400	4,499,132
資産合計	6,405,663	6,200,745

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	231,068	253,624
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	502,211	586,875
未払法人税等	36,457	29,874
賞与引当金	-	10,912
その他	206,736	169,356
流動負債合計	1,176,474	1,250,643
固定負債		
長期借入金	2,623,712	2,615,738
資産除去債務	109,624	109,853
その他	165,894	124,395
固定負債合計	2,899,231	2,849,987
負債合計	4,075,706	4,100,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,873	629,873
資本剰余金	718,861	694,539
利益剰余金	793,182	775,761
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,141,857	2,100,114
非支配株主持分	188,099	-
純資産合計	2,329,957	2,100,114
負債純資産合計	6,405,663	6,200,745

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	2,518,461	2,559,967
売上原価	2,176,792	2,258,844
売上総利益	341,669	301,122
販売費及び一般管理費	175,795	163,216
営業利益	165,873	137,905
営業外収益		
受取利息	23	32
受取家賃	5,367	-
施設運営収入	4,185	802
業務受託料	833	833
その他	1,898	1,149
営業外収益合計	12,309	2,816
営業外費用		
支払利息	28,290	25,193
支払手数料	8,669	8,416
株式交付費	8,855	-
その他	4,388	135
営業外費用合計	50,204	33,746
経常利益	127,978	106,975
特別利益		
固定資産売却益	92	3,724
特別利益合計	92	3,724
特別損失		
固定資産売却損	4,502	-
固定資産除却損	7,502	51,454
事業整理損	18,542	-
特別損失合計	30,546	51,454
税金等調整前四半期純利益	97,524	59,245
法人税、住民税及び事業税	23,435	33,058
法人税等調整額	△28,020	△10,881
法人税等合計	△4,585	22,176
四半期純利益	102,110	37,068
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,344	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,765	37,068



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	102,110	37,068
四半期包括利益	102,110	37,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,765	37,068
非支配株主に係る四半期包括利益	56,344	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,089,466	174,531	141,111	1,113,352	2,518,461	-	2,518,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,089,466	174,531	141,111	1,113,352	2,518,461	-	2,518,461
セグメント利益	111,353	21,016	8,403	184,727	325,500	△159,626	165,873

(注) 1. セグメント利益の調整額△159,626千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,098,434	124,329	150,308	1,186,894	2,559,967	-	2,559,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,098,434	124,329	150,308	1,186,894	2,559,967	-	2,559,967
セグメント利益	84,919	16,398	12,155	147,386	260,859	△122,953	137,905

(注) 1. セグメント利益の調整額 △122,953千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。